

キャラクター名
茶葉島つづみ

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	UGN支部長
オプション		年齢	21	性別	男
覚醒	忘却	衝動	自傷	初期侵食率	40 %
出自	強制解放 75	経験	脚光 64	邂逅	主人 25

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	0	0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉	10	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:要人への貸し	
コネ:研究者	
コネ:傭兵	
デモンズシード	
メモリー	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
記憶探索者	P	N		
霧谷雄吾	P 慕情	N 恐怖		
秋庭諒	P 感服	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P: 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	7						
効果: 衝動判定のダイス+1								
オリジン:サイバー	4	2	マイナー					
効果: シーン中、【社会】に+ [Lv*2]								
帰還の声	1	6	オート	視界	単体		ピュア	
効果: 使用回数制限を一つ回復								
絶対の恐怖	7	3	メジャー		単体			
効果: [Lv]ダメージ、装甲貫通								
神の御言葉	3	4	メジャー		単体		リミット	
効果: +[Lv*5]ダメージ、シナリオ三回								
奇跡の雫	1	6	オート	視界			100	
効果: 戦闘不能回復、HP[Lv*5]点								
コンセントレイト:ソラリス	2	2	メジャー					
効果: C値-[Lv]								
アクアウィターE	1	10	オート	視界	単体		120	
効果: 戦闘不能回復、HP[Lv*10]点								
快樂の香気	★							
効果: 媚薬								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

元医者志望のUGN支部長。ある冬の日、トラックに轢かれたことで脈々と流れていた『人間じゃないもの』の血と、そのとき身に着けていたゲーム機内で自我を僅かに発芽させていたレネゲイドビーイングが融合してオーヴァードに覚醒した。事故が起きた当時に流っていた『スナックスティック』という菓子職人専門学校とその周辺を舞台にしたギャルゲームのヒロイン……ではなくそのヒロインの友人という攻略不可能なサブキャラが人格のベースとして形成されており、本体は電子データそのもの。有体に言えばバグスターウイルス。

サブヒロインが男性の体に入っているため、当然男の娘ということになる。精神的には女性だが、攻略不能ヒロインだけあってあまり恋愛に積極的ではなく寧ろ恋心を引き掻き回して遊ぶタイプ。ただし、それなりに愛されたいという欲があるのか他人に好かれるのは満更でもない。女性よりは男性の方が好きだが、自分を好きになった男性を『変態』と呼ぶ。場合によっては好きにならなくても呼ぶ。

曰く「攻略もできないサブキャラ、しかも男のわたしを好きになるなんて救いようのない変態だね〜」「リアルには一杯可愛い子がいるのに、本当にわたしを選んじゃうんだ。わたし、元二次元の存在なのに。……変態じゃん!」

元々主人公とヒロインをくっつける橋渡しのような存在だったこととシンドロームの関係で、人の手綱を握る能力に長けているようだ。能力の関係上攻め立てる方が得意なのだが、中二系バトルギャルゲのヒロインじゃないので専守防衛の方が好み。「戦闘能力には期待しないでくれ」「わたしは監督だしピッチには立たないよ」と言うが、普通に戦闘能力もあるので監督ではなくキャプテン、特にミッドフィルダー辺りだと思われる。

実態を持って直ぐの頃にUGNに保護されて、同じくソラリスピュアの霧谷雄吾の元で指導されていた。まだ年若い上にレネビの茶葉島をO市の支部長に推薦したのは霧谷であり、そこの恩は茶葉島も認めるどころ。だが茶葉島は霧谷のことを苦手としている。昔はやんちゃをしたせいで霧谷に慕られたりもしたが、極端に苦手になるほどのスパルタをするわけでもない。それはそれとして、茶葉島は彼と話し、優しい言葉をかけてもらおうと胸がふわふわとして落ち着かない気分になるのだ。恋や愛を向けられたことも向けることもなかったモブヒロイン故に、茶葉島はその感情が何か分からない……ただ、自分の核のプログラムにはあってはいけないもの……な気もした。

今のところは問題も起こしていないが、それは定期的に茶葉島の様子を見に来ては優しく問題点を指摘して帰っていく霧谷の存在があるのかもしれない。茶葉島は霧谷がRBの自分をかなり強引に支部長にしたことを知っている。故に、表には出さないが自分の処理能力・支部運営能力が高いことを示し、彼の判断は間違っていないと証明してやろうと思っている……それも、かなり強い使命感で。霧谷が訪問する時には問題などないように振る舞い、自分にできないことは迅速に頼ることで判断力を実証し、管轄している都市の事件はなるべく支部の人員のみで解決へ導こうとする。本部の手は煩わせないように。

だが、茶葉島は「自分一人で解決できるか分からないけれど、多分できないこともない、つまり若干だけ処理能力を超えている問題は一人で抱えてしまうタイプ